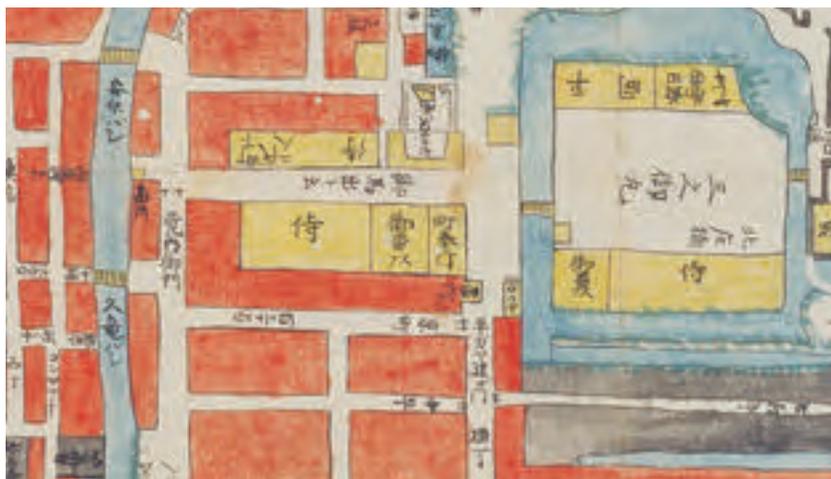


小松町奉行所と『小松旧記』

ぶ
ぎやう



小松細見之図(金沢市立玉川図書館所蔵) 町奉行所周辺



小松町奉行所跡の現在地

寛永十七年(一六四〇)、前田利常が
隠居し、小松に入城した頃から急速に

近世小松町が
形成されたが、

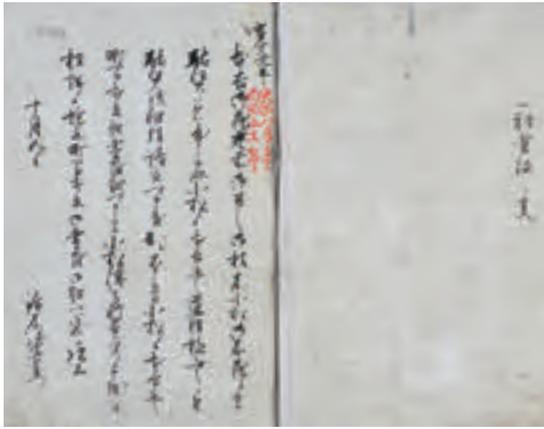
この時に内藤
清兵衛と今枝
与右衛門直勝
が最初の小松
町奉行に任命
され、以後、
藩末に至るま
で四八名の町
奉行が町の支
配にあたった
(別表)。

小松町奉行
は、藩の算用
場奉行の下に

配され、その定数は当初二名であった
が、寛文二年(一六六二)就任の塩川
安左衛門以後、一名(時期によっては
二名)となった。

町奉行の任務は、小松町の行政全般
であり、民事・刑事の司法業務も兼ね
た。町奉行の下には、小松町下代(二
名)と安宅町下代(一名)が置かれ、
道路の警固や普請ふしんにあたった。町の警
備のため町附足軽が置かれ、小頭がこ
れを統括した。また小松町の町人のな
かから家柄・能力などを勘案して町年
寄を任命し、町会所において町の自治
にあたらせた。

『小松旧記』は、元和元年〜慶応二
年(一六一五〜一八六六)の九二六三通
に及ぶ町会所に保存されていた文書や
帳簿等を集成・分類したもので、近世



『小松旧日記』(小松市立図書館所蔵) 全巻がおさめられている厨子棚(写真右)と巻1冒頭の見開き(写真上)



小松町奉行一覧

氏名	禄高	在職期間
内藤清兵衛	400石	(寛永17年~寛永19年9月)
今枝与右衛門直勝	1000石	(寛永17年~正保元年8月)
浅野藤右衛門	1000石	(寛永20年正月~万治2年6月)
神戸藏人長頼	1000石	(正保元年12月~万治2年)
原田又右衛門長幸	500石	(万治2年6月~寛文2年12月)
塩川安左衛門	700石	(寛文2年11月~寛文3年2月)
久津見忠兵衛	400石	(寛文3年2月~寛文12年7月)
西村六右衛門忠晴	1000石	(寛文12年7月~延宝5年正月)
山崎作左衛門	1000石	(延宝5年正月~貞享元年6月)
村小左衛門政信	500石	(貞享元年6月~元禄3年8月)
長瀬善左衛門	1000石	(元禄3年8月~元禄12年3月)
青木勘七郎正直	1100石	(元禄12年正月~元禄16年8月)
寺西十左衛門秀右	500石	(宝永元年10月~宝永7年8月)
横山金八郎徳純	1000石	(宝永7年8月~正徳4年6月)
伊藤彦兵衛忠順	1000石	(正徳4年7月~享保9年)
小堀左内勝順	2000石	(享保9年8月~享保12年12月)
山崎縫殿有親	1000石	(享保12年12月~延享4年5月)
小堀金五右衛門記政	1000石	(延享4年6月~宝暦11年正月)
宮崎太左衛門元統	800石	(宝暦12年2月~明和8年10月)
内藤善大夫政安	450石	(明和9年4月~安永8年9月)
江守助左衛門隆亮	1000石	(安永9年2月~天明6年9月)
沢田五郎左衛門政昭	1000石	(天明6年11月~寛政5年7月)
有賀清右衛門直一	1600石	(寛政5年8月~寛政11年9月)
由比勘兵衛清昆	450石	(寛政11年10月~文化3年6月)
菅野兵左衛門義知	450石	(文化3年9月~11月)
河村茂三郎和貴	600石	(文化3年12月~文化6年6月)
土肥権六郎庸平	540石	(文化6年7月~文化11年10月)
長谷川三右衛門一久	800石	(文化11年10月~文化13年7月)
江守角左衛門洵直	1300石	(文化13年8月)
小幡多門信直	500石	(文化13年閏8月~文政5年4月)
富田左門景純	500石	(文政5年5月~文政13年9月)
堀平馬政行	500石	(文政13年9月~天保5年12月)
山森雄次郎公寛	150石	(天保6年2月)
長屋七郎右衛門景隆	不詳	(天保6年2月~天保12年10月)
吉田兵馬	150石	(天保6年7月~天保8年11月)
堀信左衛門義勝	450石	(天保6年7月~天保8年11月)
岡田勝左衛門政之	500石	(天保12年12月~天保13年10月)
中村助大夫于理	650石	(天保13年7月~弘化3年4月)
服部貞右衛門可久	600石	(弘化3年閏5月~嘉永6年正月)
関沢安左衛門房清	250石	(嘉永6年正月~嘉永7年6月)
岩田普蔵	500石	(嘉永6年正月~10月)
中川甚之助忠良	400石	(嘉永6年10月~安政3年9月)
野村伝兵衛保次	800石	(安政3年9月~文久4年正月)
奥村平蔵	500石	(文久3年2月~文久4年12月)
人見清五郎	800石	(文久4年正月~慶応元年9月)
渡辺佐大夫	150石	(元治元年3月~11月)
伊勢左衛門	100人扶持	(文久4年正月~慶応2年11月)
小堀左内	2000石	(慶応元年10月~慶応4年)

の小松町の様子を窺う一級資料であるが、嘉永六年(一八五三)までに金沢の町人浅野屋作平が整理したものを

とに、近代に入ってから再整理され、現在小松市指定文化財となっている。

(石田文一)